

# 科技高リポート ～I Love 百姓～

Vol.3

今回の製作担当生徒



大下 莉央さん

## アグリセミナー開催 ～地域農業の維持・発展に向けた連携事業～

今年で4年目を迎える「アグリセミナー」は、山本地域振興局との連携事業として行っています。今回は、1回目の企業見学と2回目の長期インターンシップの様子をお伝えします。

第1回目の見学会は、6月28日に行われました。菌床椎茸の栽培をしている峰浜培養。ネギのメガ団地轟ネオファーム。化粧品用のハーブやワイン用のぶどうを栽培しているアルピオン。肉牛の肥育をしている朝場畜産の4社を見学してきました。教室を飛び出し、こだわりの栽培や飼育をしている関連企業の見学は、農業を学ぶ生徒達にとって刺激になったようです。

第2回目のインターンシップには、希望者4名が参加しました。7月26日から希望する農業関係機関で5日間の就業体験を行いました。生徒達は9:00～17:00まで、緊張感漂う現場で飼養管理に汗を流していました。

この事業のメリットとして生徒達は、仕事を体験することで勤労観や職業観を養うことが期待でき、企業側は生徒の働く様子を通して性格的な特徴を把握することができるため、生徒が就職を希望した際に大いに役立っているそうです。この事業により、4年間で8名の生徒が能代市内の農業の現場で働いています。未来の農業従事者の育成のために、この事業が果たす役割は大きいですね。



大きなトラクター!!! 見晴らし最高 (\*^▽^\*)



動物ってかわいいな♥



ワインの蒸留施設は私たちが最初の見学者でした (\*^▽^\*)



学校での実習とは勝手が違うなあ (\*^▽^\*)



牛舎の隅々まで消毒します



作業合間にちよつと休憩

## 校内農業鑑定に挑戦

7月15日。農業科では、農業クラブ主催で「校内農業鑑定競技会」を行いました。1～3年まで142名の生徒が、農業に関する実物鑑定を行いました。問題数は40問。計算問題が2問含まれています。正答数を競い合った結果、最高得点は31点。学年ごとの平均正答数は3年生：22問。2年生：20問。1年生：10問でした。実際に問題を数問掲載したので、読者の皆さんも挑戦してみてください。

問題1 このイネの病気は何ですか。

問題2 この害虫の名前は何かですか。

問題3 摘果作業において中心果を残す果樹はどれですか。

問題4 この寄生虫が牛の肝臓に引き起こす病気の名前は何かですか。



これ何だったかなあ?



解答拝見。結構書ける。



運営する農業クラブ員も手際が良くなりました



計算問題にもあきらめずに挑戦

2021年7月15日撮影



# 地域のきずな ～女性部活動～

## 食農教育活動

## ～じゃがいも大収穫～



女性部能代支部は、年間を通し淳城西小学校5年生児童43人を対象に、「食」と「農業」の大切さを、育てることから勉強してもらうことを目的に農業体験学習に取り組んでいます。

7月16日に、今年3回目の体験学習が開催され、友達と競い合うように形、大きさ様々なじゃがいもの「メイクイン」と「キタアカリ」を品種別にたくさん収穫しました。

同校の内田宗佑さんは「今日収穫したじゃがいもをお母さんに渡して、カレーライスのリクエストしたい。」と笑顔。進藤麻依さんは「こんなにたくさん収穫出来るとは思わなかった。大収穫で良かった。」とご満悦な表情を見せてくれました。

収穫後、女性部員が調理したホクホクな「じゃがいもの塩バター煮」を試食。

大きな口で頬張る児童らはあっという間に完食していました。

次回は9月に開催予定。「白神ねぎ」とサツマイモ、カボチャの収穫に挑戦します。



## 今年度の活動内容を決定!

## ～JA助けあい組織協議会活動～

J A助けあい組織協議会(藤田ミヤ子会長)は、7月19日に能代支部の「いきいき会」とニツ井支部の「たんぼぼ会」による、今年度の活動内容を協議決定するための合同研修会を開催しました。

助けあい組織協議会は高齢化社会に対応するため、様々な活動を通じて心豊かな地域作りを推進することを目的としています。

決定した今年度の主な活動は下記の通りです。

支部	今年度の活動
いきいき会(能代支部)	①ミニデイサービスの開催 ②JAあきた白神福祉介護課事業所でのボランティア活動
たんぼぼ会(ニツ井支部)	①ミニデイサービスの開催 ②地域の高齢者世帯(一人暮らし)への声かけ運動(安否確認)

協議終了後、生活課の今野春子さんが講師役となりコロナ禍によるおうち時間でも気軽に楽しんで行うことができる健康維持のための運動講習会が行われました。

